

2021年度 第1回6月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、解答文中のどこかで使用していれば減点しない。

[1]

問2 24点

[指定語句] アラブの春 インターネット 国境 武装勢力 民族分布

(下線不要) ※指定語句不足は1語につき-1点

中東ではインターネットで情報を交換することで連帯した民衆によって長期独裁政権が倒される、アラブの春と呼ばれる民主化運動が起こった。それに触発され、シリアの民衆も反政府運動を起こすが、やがて武力を伴う過激なものとなり、政府側との内戦に発展した。また、アフリカには、ヨーロッパの旧宗主国が民族分布を無視して引いた植民地の境界線を、そのまま現在の国境として利用している国が多い。そうした国々では複数の民族が混在し、国政の主導権争いが民族間の内戦に発展しやすい。アフリカにおいては、内戦の当事国で産出する鉱物が鉱山を支配下におく武装勢力の資金源になっていることもあり、それらは内戦長期化の一因となっている。

【加点ポイント】

i) Aで内戦が生じた背景 (12点)

★問1「A：シリア」を正解していることを加点の前提とする

- ① アラブの春に触発された／アラブの春の影響を受けた →3点
- ② (アラブの春の内容) 長期独裁政権が倒された／民主化運動 →3点
- ③ (アラブの春の内容) インターネットで情報を交換することで民衆が連帯した
／民衆の団結がインターネットによって成立した →3点
- ④ (Aの内戦の内容) 政府軍と反政府軍による内戦／アサド政権と反体制派の争い
／政府軍と反政府軍だけでなくISLやクルド人勢力なども参戦
／政府軍にはロシア、反政府軍にはアメリカ合衆国などの支援もあり、内戦は泥沼化している など

(※「反政府軍／反体制派」は「武装勢力」としていてもよい)

3点

ii) アフリカで内戦が生じやすい背景 (8点)

- ① 国内に複数の民族が混在する/民族分布と国境線が一致しない →3点
- ② (①の理由) ヨーロッパの旧宗主国が民族分布を無視して国境を引いた
/植民地時代の境界線をそのまま国境としている →3点
- ③ (①により) 主導権争いが民族間の内戦に発展する/民族間の争いが絶えない
/宗教の違いが争いの火種になる →2点

iii) アフリカの内戦に与える鉱物の影響 (4点)

- ① 鉱物が武装勢力の資金源となる/鉱物が反政府組織の活動資金となる
/鉱物の利権争いが内戦に発展する
/腐敗政権による鉱物の利益追求が内戦の原因となる
/鉱物が反政府軍や外国軍の収奪の対象となる } →4点

問3 16点

イスラームを信仰するロヒンギャは仏教徒の多いミャンマーで迫害を受け、一部がムスリムの多いバングラデシュに逃れた。しかし、ロヒンギャをバングラデシュからの不法移民とみなすミャンマー政府は彼らを自国籍の難民とは認めず、逆に、自国に残るロヒンギャをバングラデシュから受け入れた難民としている。また、バングラデシュ政府がロヒンギャ難民の移住を計画してきた島は、サイクロン襲来時に高潮で水没しやすく危険である。

【加点ポイント】

i) ロヒンギャの難民問題について (9点)

★問1「D：ミャンマー」の可否は問わないが、②では加点しない

- ① (宗教的要因) ロヒンギャはイスラームを信仰する
/ロヒンギャはムスリムである →2点
- ② (宗教的要因) ミャンマー (D) では主に仏教 (上座部仏教) が信仰される
/ミャンマー (D) は仏教徒が多い →2点
- ③ (宗教的要因) バングラデシュは主にイスラームが信仰される
/バングラデシュはムスリムが多い →2点
- ④ (ミャンマー政府の主張) ロヒンギャはバングラデシュからの難民である →3点

ii) バングラデシュでの移住先の問題点 (7点)

- ① (移住先の島の自然的特徴) 標高が低い/低地 →2点
- ② (①の問題点) 高潮による水害の危険がある →3点
(※「水没」「水害」「洪水」などのみ →2点)
- ③ (②の起こる自然的要因) サイクロン →2点

[2]

問 2 22 点

[指 定 語 句]

賃金水準	付加価値	分業体制	労働集約
------	------	------	------

 (下 線 不 要)

域内関税を撤廃した E U の拡大で 分業体制 が進展した。 賃金水準 が高い主要部では 付加価値 の低い工業品や工程の生産拠点が国外へ移転し、ハイテク部品や医薬品など 付加価値 の高い工業品の生産、輸出に集中している。 賃金水準 がやや低いイベリア半島では、 高付加価値 製品の組立て工程や石油化学工業を主要部から受け入れ、輸出品目の高度化が進んで輸出額も増加した。社会主義体制のもとで経済発展が遅れていた東ヨーロッパは、 賃金水準 が大幅に低い。 E U への新規加盟によってヨーロッパ経済圏に組み込まれた結果、安価な労働力を背景に、自動車や電気機械などの 労働集約的 工業が立地し、主要部に輸出している。その結果、輸出額が大幅に増加した。

【 加 点 ポ イ ン ト 】

i) ヨーロッパ統合の拡大の影響 (4 点)

(※ 解 答 中 の ど こ か で 述 べ ら れ て い れ ば 加 点)

① 域内の 分業体制 が進展 / 国際 分業体制 が確立された / 水平 分業体制 が整った
 / 域内貿易が活発になった / 域内の輸出入が増えた → 2 点

② (① の 背 景) 域内関税の撤廃 / E U 内は無関税 → 2 点

ii) ヨーロッパ主要部について (4 点)

① 付加価値 の低い工業品や工程の生産拠点が国外へ移転
 / 労働集約的 な工業品の輸出が少ない
 / 付加価値 の高い工業品の生産や輸出が多い
 / 医薬品などの 高付加価値 品の輸出が増えた → 2 点

② (① の 背 景) 賃金水準 が高い / 人件費が高い → 2 点

iii) イベリア半島について (6 点)

① 輸出品目の高度化が進んだ / 石油製品などの輸出が増えた
 / 高付加価値 品の輸出が増えた / 主要部との国際分業が増えた → 2 点

② 輸出額が大きく伸びた / 輸出額が 2 倍以上になった → 2 点

③ (① ② の 背 景) 賃金水準 がやや低い / 賃金水準 が主要部に比べ低い
 / 賃金水準 が東ヨーロッパに比べると高い → 2 点

iv) 東ヨーロッパについて (8 点)

① (2004 年 に / 1996 年 以 降 に / こ の 期 間 に) E U に 加 盟 し た → 2 点

② (① に よ り) 労働集約的 工業が立地した / 自動車や電気機械などの工場が移転してきた
 / 西ヨーロッパから工場が移転した / 自動車などの輸出が増えた → 2 点

③ (① ② に よ り) 輸出額が大幅に増加した / 輸出額が 10 倍近くになった → 2 点

④ (② の 背 景) 賃金水準 が低い / 人件費が安い → 1 点

⑤ (④ の 背 景) 社会主義体制であった / 経済発展が遅れていた → 1 点

問 3 16 点

[指定語句] 関税同盟 権限強化 戦略物資 冷戦終結 (下線不要)

石炭や鉄鋼などの戦略物資の共同管理のため西ドイツ、フランスなどが設立した ECSC が、EEC などと統合して EC となり、関税同盟などによる経済統合を進めつつ、加盟国はイギリスやスペインなど南北に拡大した。冷戦終結後に政治統合も視野に EU に発展し、共通通貨を導入した。ポーランドやチェコなど旧社会主義国が加盟して東方拡大が進む一方、経済格差や EU 権限強化への抵抗、移民問題に伴うイギリス離脱など課題も多い。

【加点ポイント】

- i) 統合体名 1 つ 1 点 3 点まで
- ii) 加盟国 ○1 つにつき 1 点 4 点まで
- iii) 性格 ①～⑫1 つにつき 1 点 9 点まで

統合体名	加盟国(1カ国以上の指摘で加点)	性格
ECSC	○西ドイツ・フランス・イタリア・ベネルクス三国	①石炭・鉄鋼などの <u>戦略物資</u> を共同管理する ／石炭・鉄鋼の生産と販売を共同で管理する
EEC		② <u>関税同盟</u> の設定 ／域外共通関税の設定と域内関税の撤廃
EURATOM		③原子力の利用と開発を共同で行う
EC	○デンマーク・アイルランド・イギリス・ ギリシャ・スペイン・ポルトガルが加盟	④ECSCとEECなどを統合してECとなった ／ECSCとEECとEURATOMを統合した ※(上記の①②③をここで指摘していれば、 加点するが重複加点はしない) ⑤アメリカ合衆国と旧ソ連の経済圏に対抗 ⑥西ヨーロッパの経済統合が進んだ ⑦共通農業政策の実施
EU	○オーストリア・フィンランド・スウェーデンが加盟 ○旧社会主義国(東欧諸国)が加盟 (チェコ・ハンガリー・ポーランド・バルト三国など) ○イギリスが離脱	⑧ <u>冷戦終結</u> 後にECからEUに発展 ⑨マーストリヒト条約による ⑩通貨統合／共通通貨(ユーロ)の導入 ⑪政治統合など <u>権限強化</u> を図った ／EUの <u>権限強化</u> への抵抗が見られる ⑫経済格差(移民問題)などの課題が見られる